



※写真はイメージです。

No.17

さんりく絆スポーツフェスタ

実施時期 **2019年6月1日(土)～8月7日(水)**

実施場所

- (1) ラグビーワールドカップ2019™日本大会・釜石開催関連イベント：釜石市
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連イベント：住田町、大槌町、山田町、岩泉町、洋野町
- (3) 著名人とのスポーツ交流イベント：宮古市、陸前高田市

実施主体

主催：三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
共催：開催地市町村、ラグビーワールドカップ釜石開催実行委員会（調整中）
協力：公益財団法人日本オリンピック委員会（調整中）

事業目的

ラグビーワールドカップ2019™日本大会釜石開催や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会と連携したスポーツイベント、復興支援活動等で三陸地域とつながりを有する著名人と地元子どもたちとの交流の機会を設定し、スポーツの力を通じた交流の拡大を促進する。

ターゲット

オールターゲット（沿岸、内陸、全国、海外）
【集客目標】16,500人

実施市町村

宮古市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、洋野町

関連事業

・No.13 三陸防災復興展示会

事業内容

(1)ラグビーワールドカップ2019™日本大会・釜石開催関連イベント

本プロジェクト会期中に釜石鵜住居復興スタジアムで開催予定のラグビーワールドカップ2019™のテストイベントと連動して、ラグビーワールドカップ釜石開催実行委員会との協働により、スタジアム周辺を活用した本プロジェクトや復興の取組状況の発信のほか関連するイベントを実施する。

(2)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連イベント

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)が主催する「オリンピックデー・フェスタ(被災地の方々とオリンピック、アスリートがスポーツプログラムを通じてふれあう交流イベント)」を実施する。

(3)著名人とのスポーツ交流イベント

「復興五輪」を大会開催の基本方針に掲げる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成のため、1964年東京オリンピック開催時の聖火台の巡回展示を実施しながら、復興支援でつながりのある著名人とのスポーツ交流イベントを三陸で実施する。

期待される効果

- ・ 三陸地域の住民と有名スポーツ選手等との交流イベント等を実施することで、「夢・希望・憧れ」が醸成される。
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた開催機運の醸成が図られる。
- ・ スポーツを通じた復興支援により生まれた、つながりのさらなる強化が図られる。

今後の展開方向

- ・ 次期総合計画「長期ビジョン」(案)の三陸防災復興ゾーンプロジェクトに掲げる、三陸の魅力的な自然環境を活用したスポーツツーリズムの推進により交流の活性化を図る。